

創立
50
周年
記念行事プログラム

50th Anniversary

of The Foundation



確かな医療を支える臨床検査
一般社団法人日本衛生検査所協会
Japan Registered Clinical Laboratories Association

会長挨拶



一般社団法人 日本衛生検査所協会
会長 久川 芳三

当協会は、昭和48年、前身であります全国臨床検査所協会として設立し、この3月に、創立50周年の佳節を迎えました。

これも偏に行政、関係団体、会員、賛助会員、そして、歴代の会長、役員の方々のご指導、ご支援、ご協力の賜ものと心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、発生から三年が経過しましたが、この間日本社会は国難ともいふべき事態に見舞われてまいりました。この5月に、感染症法上の位置付けが5類になるとともに、都道府県等が医療機関へ行政検査を委託して患者の自己負担分の公費支援を行う取扱いが終了いたしました。社会が、コロナ禍以前の状態に戻りつつあります。これまで臨床検査、そして医療の最前線の現場において、日々献身的に職務に努められてきた皆様に、あらためて心より敬意を表します。これまでに培われた経験、取り組みは、未来の臨床検査の大いなる財産です。我々は今後も、新型コロナウイルス、そして新しい感染症に対する備えを怠ることなく、取り組んでまいる所存です。

当協会の歩みは、激動の臨床検査の歴史そのものといっても過言ではありません。今後も、技術の進展や環境の変化に対応すべく、課題が山積しています。しかし、いかに時代が変わり変革の波が押し寄せても、国民医療を支えていく決意と使命感は、いささかも変わるものではありません。

臨床検査は、医師が日常臨床において行う的確な診断、治療、経過観察、また、予防医学の健診において必要不可欠な分野となり、また、検体検査の多くを実施している衛生検査所は、各地域の医療に貢献する役割を担い、国民医療を支える存在としての評価を頂くことができました。創立50周年の節目に当たり、これからも当協会は、医療に欠かすことができない臨床検査を業とする衛生検査所の団体として、会員相互が協同し、関係団体との緊密な連携のもと事業を推進してまいりたいと考えております。

本日、挙行される創立50周年記念式典を新たな出発の機会と捉え、皆様とともに臨床検査の発展に共々に邁進してまいります。

創立50周年 記念行事プログラム

【日時】

令和5年5月17日（水） 15：15～20：00

【会場】

ホテルニューオータニ

〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 ☎03-3265-1111

次 第

記念講演

15：15～16：30

[会場] おり鶴麗

【テーマ】 「COVID-19 これまでとこれから」

講師： 忽那 賢志 氏（大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授）

記念式典

17：00～17：45 [会場] 鶴の間「東」

開 式

開式の辞

式 辞

厚生労働大臣 ご祝辞

日本医師会会長 ご祝辞

来賓紹介

祝電披露

厚生労働大臣表彰

受賞者代表 謝辞

日衛協50年の軌跡 上映

閉式の辞

閉 式

記念祝賀会

18：00～20：00 [会場] 鶴の間「西」

開 会

開会挨拶

会長挨拶

来賓祝辞

乾杯発声

祝 宴

アトラクション

閉会挨拶

閉 会

記念講演講師紹介



【テーマ】

「COVID-19 これまでとこれから」

大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授

忽那 賢志 氏

プロフィール

出身地：福岡県北九州市

生年月日：1978年12月7日

学歴：2004年 山口大学医学部卒業

学位：医学博士

所属学会：日本内科学会、日本感染症学会、日本環境感染学会、
日本臨床微生物学会など

職歴

2004年 山口大学医学部卒業

2004年 関門医療センター 初期研修医

2006年 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター

2008年 奈良県立医科大学附属病院 感染症センター医員

2010年 市立奈良病院 感染症科 医長

2012年 国立国際医療研究センター 国際感染症センター フェロー

2013年 同 国際感染症センター 医員

2018年 同 国際感染症センター 国際感染症対策室医長

2021年 大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授

大阪大学医学部附属病院 感染制御部 部長

感染症総合教育研究拠点（CiDER）人材育成部門 副部門長

2022年 大阪大学医学部附属病院 感染症内科 診療科長

現在の研究課題

COVID-19後遺症、洗口液によるSARS-CoV-2伝播の抑制、

SFTSに対する中和抗体薬の開発など

厚生労働大臣表彰者

(50音順、敬称略)

大藪 正樹

新宮 清秀

杉田 宏充

橋本 充

東 俊一

山川 保雄

横山 強

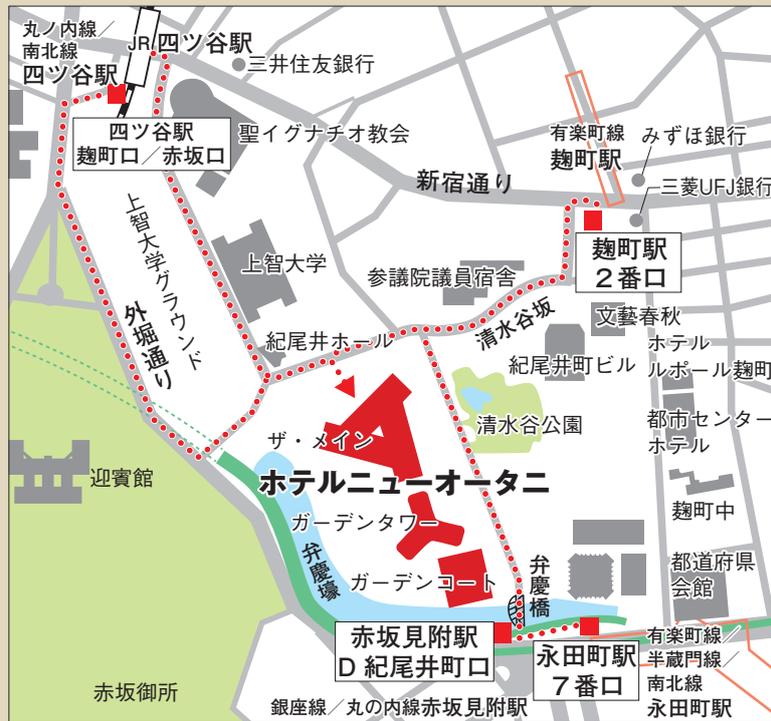
日衛協のこれまでの主な歩み

1970年	12月	臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律（臨衛技法）改正
1971年	1月	上記の改正法の施行とともに「登録衛生検査所制度」創設
1973年	3月	上記の制度創設を契機に「全国臨床検査所協会」設立
1974年	9月	本協会独自の精度管理調査を開始
1978年	11月	協会紙「ラボ」創刊
1979年	3月	第1回学術研究発表会を開催
	4月	日本臨床検査専門学院を開講
	11月	初の「臨床検査月間」を実施
1980年	5月	「登録衛生検査所」の普及にともなって「日本登録衛生検査所協会」に改称
1981年	4月	法改正により衛生検査所はすべて登録を要することとなり「日本衛生検査所協会」と改称
1987年	3月	厚生大臣の設立許可を受け「社団法人日本衛生検査所協会」設立
1992年	7月	「衛生検査所生涯学習通信講座」設立準備委員会を設置
1993年	3月	創立20周年記念式典を挙げる
	4月	第1回医療フォーラムを開催
1996年	9月	「衛生検査所生涯学習通信講座」開講
1997年	11月	創立25周年・法人化10周年記念式典を挙げる
1999年	4月	日衛協ホームページを開設
2001年	1月	臨床検査の普及を目的に第1回目の単行本 「ここが知りたい! 病気と検査のはなし」を出版
	1月	第1回「病気と検査の思い出エッセイ」を一般から公募
	4月	日衛協独自の倫理に基づく行動規範として「検体検査プロモーションコード」を策定
	4月	検査団体として国内初の「ヒト遺伝子検査受託に関する倫理指針」を策定・公表
2003年	9月	日衛協シンボルマーク決定
2004年	3月	日衛協「創立30周年記念史」発刊
2005年	3月	衛生検査所における個人情報の適切な取扱いのためのガイドラインを策定
	4月	日衛協ならびに検査関連四団体による臨床検査振興協議会を発足
	5月	「臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律の一部を改正する法律」の 施行により「臨床検査技師等に関する法律」に改称
	11月	衛生検査所業検査項目別原価計算基準を策定
2006年	6月	道路交通法改正を受け「血液検体輸送中マーク」を作成
2007年	12月	感染症法に準拠した衛生検査所における病原体安全管理マニュアル（ひな型）を策定
2008年	5月	創立35周年・法人化20周年記念式典を挙げる
2009年	5月	衛生検査所事業継続のための新型インフルエンザ対策ガイドラインを策定
2010年	12月	細菌検査塗抹・培養ガイドラインを策定
2011年	4月	「省令改正」により検査分類に2次分類を追加
2012年	2月	衛生検査所のためのBCPガイドラインを策定
2013年	3月	創立40周年記念式典を挙げる
	3月	「確かな医療を支える臨床検査」をブランドステートメントに定める
	4月	「一般社団法人日本衛生検査所協会」へ移行
	4月	検査前工程の標準化ガイドラインを策定
2014年	3月	細菌検査検体取り扱いガイドラインを策定
	3月	感染症法に準拠した衛生検査所における病原体安全管理マニュアル（ひな型）を改正
2016年	3月	遺伝学的検査受託に関する倫理指針を一部改正
2017年	6月	「医療法等の一部を改正する法律」施行
2018年	10月	精度管理運用のガイドライン（指針）を策定
	11月	創立45周年記念式典を挙げる
	12月	衛生検査所指導要領改訂
2020年	3月	新型コロナウイルス対策検討委員会を設置
2023年	3月	創立50周年を迎える

【会場ご案内】

ホテルニューオータニ

東京千代田区紀尾井町4-1 ☎03-3265-1111



【交通】

赤坂見附駅（地下鉄 銀座線・丸ノ内線）D紀尾井町口 3分

永田町駅（地下鉄 半蔵門線）7番口 3分

麹町駅（地下鉄 有楽町線）麹町口 6分

四ツ谷駅（JR 中央線・総武線、地下鉄 丸ノ内線・南北線）麹町口・赤坂口 8分

※ご来場はザ・メイン宴会場側入り口よりお越し下さい。



確かな医療を支える臨床検査

一般社団法人 **日本衛生検査所協会**

Japan Registered Clinical Laboratories Association

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K.I.S飯田橋2階

TEL 03-5805-5250 FAX 03-5805-5252